

浜嶋です。
こんにちは。

指導者の日本連盟登録料は、スカウトより 2,000 円高いです。特典はスカウティング誌が配布されます。そこに、日本連盟の考え方や制度の説明、ジャンボリーなどの日本連盟の行事の説明、また安全対策や団紹介などが掲載されます。特にスカウト活動に関する特集も掲載され、各隊活動に有益な情報が掲載されます。日本連盟の考え方や方針は、指導者個人がよく考えて、自分のやり方を見直して、高めていくことが重要だと思います。

今年の1月号で、「そうだよね」と思ったことは、膳師日本連盟コミッショナー（豊中12団）が、「スカウティングは 野外で明るく楽しくやるぞ!」という記事です。膳師さんは、2015年1月にも、『夢』と『冒険』、この言葉、みなさんワクワクしてきませんか。野外活動を教場とするボーイスカウトの、これこそ活動の中心であるべきと思っています」という記事を書いています。奥島理事長も「インドアからアウトドアへ」ということを言っています。

私は、数年前から「ワイルドなプログラムをしてください」と言ってきましたから、野外活動を基本に活動をするをもっと増やしてほしいと思います。
これについては、別途話をさせていただきます。

さて、今回は、世界のスカウト人口について調べてみましょう。

今年は、世界のなかまは、「169ヶ国、約4000万人」いるとスカウティング誌に掲載されています。

3年前の2015年と比べてみましょう。3年前は、「162ヶ国、3600万人以上」で世界の仲間は400万人増えています。

ベスト3（カッコ内は2015年1月）は、

1. インドネシア 21,599,748 人 (21,599,748 人) データが更新されていない。
2. インド 3,647,843 人 (3,371,408 人)
3. アメリカ合衆国 2,816,513 人 (2,988,612 人)
4. フィリピン 1,934,255 人 (1,760,309 人)
5. バングラデシュ 1,112,293 人 (958,243 人)

※インドネシアが半数を占めているんですね。

5か国で77.8%を占めます。

アメリカは日本の25.7倍のなかまがいます。

イギリス、日本、韓国、ドイツはどうか。

8. イギリス 530,999 人 (9,528,263 人)

12. 韓国 149,356 人 (10. 190,539 人)

13. 日本◆ 109,529 人 (11. 127,815 人)

15. ドイツ 109,292 人 (15. 112,503 人)

※イギリスは、日本の4. 8倍。セーフ・フロム・ハームの推進で増加か？

日本は、3年間で18,286人減少しました。ピークで30万人いましたから、3分の1になりました。

セーフ・フロム・ハームの導入、HPでのPRの強化を実施中。

「ちかいとおきて」の実践をPRし、実施していきましょう。

大きく増加した国は、

6. ケニア 1,026,364 人 (10. 323,884 人)

11. 南アフリカ 299,128 人 (22. 69,316 人)

日本の人口は世界で何番目でしょうか。2016年の統計で、10番目です。

1. 中国 13.83 億人

2. インド 13.00 億人

3. アメリカ 3.23 億人

4. インドネシア 2.59 億人

5. ブラジル 2.06 億人

6. パキスタン 1.94 億人

7. ナイジェリア 1.84 億人

8. バングラデシュ 1.62 億人

9. ロシア 1.43 億人

10. 日本◆ 1.27 億人

12. フィリピン 1.04 億人

17. ドイツ 0.82 億人

21. イギリス 0.66 億人

26. 韓国 0.51 億人

世界のなかまが増えたということは、世界に出かけると現役のボーイスカウトやボーイスカウトだった人がいっぱいいるということです。

制服を着ていれば、丁重に扱ってもらえます。

海外に出かけるときは、ボーイスカウトの拠点を調べて、訪問するといいですね。